

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 地域高規格道路 有明海沿岸道路 一般国道208号 <small>おおかわ さが</small> 大川佐賀道路	事業区分	一般国道 国土交通省 九州地方整備局																				
起終点 自：福岡県大川市大字大野島 <small>おおかわし おおあざ おおのしま</small> 至：佐賀県佐賀市嘉瀬町 <small>さがし かせまち</small>	延長 9.0km																					
事業概要 大川佐賀道路は、地域高規格道路「有明海沿岸道路」の一部を形成し、地域間の連携および交流の促進を支援するとともに、並行する国道208号の交通混雑の緩和等を目的とした事業である。																						
H13年度事業化	H19年度都市計画決定 (H一年度変更)	H24年度用地着手 H一年度工事着手																				
全体事業費	約709億円	事業進捗率 約3% 供用済延長 0.0km																				
計画交通量	34,000～39,300台/日																					
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">B/C (事業全体)</td> <td style="width: 15%;">2.8</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>3.0</td> </tr> </table>	B/C (事業全体)	2.8	(残事業)	3.0	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">総費用 (残事業)/(事業全体)</td> <td style="width: 15%;">485/516億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>466/497億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>19/19億円</td> </tr> </table>	総費用 (残事業)/(事業全体)	485/516億円	事業費	466/497億円	維持管理費	19/19億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">総便益 (残事業)/(事業全体)</td> <td style="width: 15%;">1,462/1,462億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>1,156/1,156億円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>202/202億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>103/103億円</td> </tr> </table>	総便益 (残事業)/(事業全体)	1,462/1,462億円	走行時間短縮便益	1,156/1,156億円	走行経費減少便益	202/202億円	交通事故減少便益	103/103億円	基準年 平成25年
B/C (事業全体)	2.8																					
(残事業)	3.0																					
総費用 (残事業)/(事業全体)	485/516億円																					
事業費	466/497億円																					
維持管理費	19/19億円																					
総便益 (残事業)/(事業全体)	1,462/1,462億円																					
走行時間短縮便益	1,156/1,156億円																					
走行経費減少便益	202/202億円																					
交通事故減少便益	103/103億円																					
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=2.6～3.1（交通量 ±10%） 事業費：B/C=2.6～3.1（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=2.4～3.2（事業期間±20%） 【残事業】交通量：B/C=2.8～3.3（交通量 ±10%） 事業費：B/C=2.7～3.3（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=2.5～3.4（事業期間±20%）																						
事業の効果等																						
①広域交通ネットワークの形成 ・沿岸8都市を高速でつなぎ、三池港IC(福岡県)～(仮)白石3IC(佐賀県)間の所要時間の短縮 ②交通混雑の緩和 ・並行する国道208号現道等における交通混雑の緩和及び走行性の向上 ③交通安全性の向上 ・並行する国道208号現道等における交通死傷事故発生件数の減少 ④救急医療活動の支援 ・第三次救急医療施設(佐賀県医療センター好生館)への救急搬送の支援及び救急搬送時間短縮による救命率の向上 ⑤広域的な観光の支援 ・有明海沿岸地域の観光拠点へのアクセス時間の短縮 ⑥地域防災の支援 ・浸水時の避難経路や緊急輸送道路として機能																						
関係する地方公共団体等の意見 佐賀市をはじめとする2市8町等で構成される有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会（会長：佐賀市長）等により早期整備の要望を受けている。（平成25年2月）																						
県の意見： (福岡県) 有明海沿岸道路は広域的な連携を担う地域高規格道路であり、地域にもたらず整備効果は広域的でかつ大きいため、継続して整備すべきと考える。 (佐賀県) 早期整備を強く望んでいるところであり、継続することについては、異議ありません。																						

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、事業継続。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線地域である大川市、佐賀市の人口は減少傾向にあり、一世帯あたり自動車保有台数は横ばい傾向であるものの、九州全体、福岡県・佐賀県合計よりも高い。国道208号現道の交通量は横ばい傾向にあり、混雑度は約1.6である。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成24年度末の事業進捗率は約3%であり、そのうち用地進捗率は約0%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き用地買収を進め、今後の工事着手に向けて事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

- ・評価対象の変更(用地4車+工事2車→用地4車+工事4車)による増【約149億円増】
- ・新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上、事業の効果及び進捗状況、事業評価監視委員会における審議、地方公共団体等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。